



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 株式会社シーボン

上場取引所 東

コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 執行役員 （氏名）崎山 一弘

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 管理本部責任者 （氏名）松本 裕右 TEL 03-3404-7501

半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年11月28日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	4,610	6.9	125	—	144	—	115	—
2025年3月期中間期	4,311	△1.7	△11	—	△12	—	△61	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 114百万円（－％） 2025年3月期中間期 △49百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	26.94	—
2025年3月期中間期	△14.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	8,667	5,774	66.6
2025年3月期	8,522	5,703	66.9

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,771百万円 2025年3月期 5,699百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00			
2026年3月期（予想）			—	10.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	9,123	3.2	201	18.0	209	21.8	74	△45.2
								17.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	4,281,200株	2025年3月期	4,281,200株
2026年3月期中間期	689株	2025年3月期	689株
2026年3月期中間期	4,280,511株	2025年3月期中間期	4,280,511株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料の入手方法)

当社は、2025年11月27日 (木) に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ホームページへ掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における日本国内の経済環境は、緩やかな回復基調が続いたものの、地政学的リスクや円安の進行が物価上昇を招き、個人消費に影響を与えるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした経営環境の中、当社グループは、2024年3月期からスタートした中期経営計画（2024年3月期から2026年3月期）の3年目として、「製品価値向上」「サロン価値向上」「新しい価値の創造」という3つの重点課題を掲げ、再成長を目指しております。

直営店舗に関しては、当中間連結会計期間は、引き続き「新たな顧客の開拓」及び「ロイヤルカスタマーの醸成」の2点を重視し施策を実行してまいりました。

例年、7月から9月にかけては展示会等のイベント開催が増加することもあり、お肌チェック等のイベントでの新規顧客の来店数が多い傾向にあります。当中間連結会計期間は、イベントでの集客活動が活発であったことに加えて、昨年より実施しているブランディングプロジェクト「60th Anniversary プロジェクト」の効果もあり、WEB広告や既存顧客からの紹介来店等も好調に推移し、新規顧客の来店数は前年同期比110.9%となりました。集客活動の効率化や、接客教育を強化したことに加えて、新規顧客向けのキャンペーンの実施や、新規顧客への接客が優れたスタッフの認定制度の設置等も奏功し、新規顧客の購入単価は前年同期比104.6%、新規顧客の契約率は前年同期比103.9%と向上した結果、新規顧客への売上高は前年同期比120.6%と大きく増加いたしました。

既存顧客に関しましては、採用難等の影響により未だスタッフが充足していない店舗があることにより、既存顧客の継続数^{*}は前年同期比99.6%と概ね横ばいとなりました。しかしながら、引き続き取り組んでいる「ロイヤルカスタマーの醸成」の施策が軌道に乗り、ロイヤルカスタマー数が増加していることや、電動式洗顔ブラシ「シーボン ウォッシュリフト」等の新製品を発売したことも奏功し、既存顧客の購入単価は105.9%となり、既存顧客への売上高は105.4%となりました。

この結果、直営店舗における売上高は4,306,069千円（前年同期比6.6%増）となりました。

子会社の株式会社ジャフマックにおきましては、引き続き販促活動の強化を行った結果、当中間連結会計期間も概ね想定通りの進捗となりました。また、グループ全体の意思決定の迅速化等のため、2025年9月1日に本社事務所を新宿区市谷から港区六本木のシーボンビルへ移転いたしました。さらにグループ全体のシナジーを高めてまいります。

この結果、当中間連結会計期間における連結売上高は4,610,015千円（前年同期比6.9%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は125,324千円（前年同期は営業損失11,962千円）となり、営業外収益に投資有価証券の売却により10,786千円を計上した結果、経常利益は144,638千円（前年同期は経常損失12,588千円）、親会社株主に帰属する中間純利益は115,327千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失61,112千円）となりました。

※継続数

：1カ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末の流動資産は4,751,429千円となり、前連結会計年度末に比べ137,537千円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比88,722千円増）、受取手形及び売掛金の増加（前連結会計年度末比106,038千円増）があった一方で、その他流動資産の減少（前連結会計年度末比64,127千円減）によるものであります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末の固定資産は3,916,499千円となり、前連結会計年度末に比べ7,400千円増加いたしました。その主な要因は、その他有形固定資産の増加（前連結会計年度末比6,658千円増）、投資その他の資産のその他の増加（前連結会計年度末比24,609千円増）があった一方で、建物及び構築物の減少（前連結会計年度末比

17,551千円減)によるものであります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末の流動負債は2,545,653千円となり、前連結会計年度末に比べ54,739千円増加いたしました。その主な要因は、未払法人税等の増加(前連結会計年度末比21,460千円増)、流動負債その他の増加(前連結会計年度末比168,993千円増)があった一方で、買掛金の減少(前連結会計年度末比13,945千円減)、契約負債の減少(前連結会計年度末比98,525千円減)、資産除去債務の減少(前連結会計年度末比23,242千円減)によるものであります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末の固定負債は347,416千円となり、前連結会計年度末に比べ18,446千円増加いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加(前連結会計年度末比22,994千円増)、固定負債その他の減少(前連結会計年度末比4,547千円減)によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は5,774,859千円となり、前連結会計年度末に比べ71,751千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金の増加(前連結会計年度末比72,522千円増)によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.6%(前連結会計年度末は66.9%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前中間純利益が143,273千円となったほか、有形固定資産の取得による支出等が減少した事により、前中間連結会計期間末に比べ53,920千円増加し、当中間連結会計期間末には2,742,359千円となりました。

当中間連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末において、営業活動の結果獲得した資金は208,904千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益143,273千円、減価償却費106,518千円、未払消費税等の増加137,699千円、未収消費税等の減少91,711千円、契約負債の減少98,525千円、売上債権の増加106,038千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末において、投資活動の結果使用した資金は75,635千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出66,103千円、敷金及び保証金の差入による支出9,930千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間末において、財務活動の結果使用した資金は42,731千円となりました。これは主に、配当金の支払額42,731千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653,637	2,742,359
受取手形及び売掛金	817,202	923,240
商品及び製品	404,029	404,492
仕掛品	67,102	69,918
原材料及び貯蔵品	431,301	435,115
その他	240,795	176,668
貸倒引当金	△176	△364
流動資産合計	4,613,892	4,751,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,241,271	2,223,719
土地	244,827	244,827
その他（純額）	167,876	174,535
有形固定資産合計	2,653,974	2,643,081
無形固定資産	35,121	28,804
投資その他の資産		
その他	1,243,003	1,267,613
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,220,003	1,244,613
固定資産合計	3,909,099	3,916,499
資産合計	8,522,992	8,667,929
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,665	62,719
未払法人税等	63,047	84,507
契約負債	1,568,554	1,470,028
資産除去債務	30,802	7,560
その他	751,843	920,837
流動負債合計	2,490,913	2,545,653
固定負債		
資産除去債務	281,524	304,518
その他	47,445	42,898
固定負債合計	328,970	347,416
負債合計	2,819,883	2,893,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	4,686,710	4,759,233
自己株式	△1,501	△1,501
株主資本合計	5,536,970	5,609,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152,028	153,832
為替換算調整勘定	10,664	8,088
その他の包括利益累計額合計	162,692	161,921
新株予約権	3,445	3,445
純資産合計	5,703,108	5,774,859
負債純資産合計	8,522,992	8,667,929

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,311,994	4,610,015
売上原価	1,071,882	1,145,534
売上総利益	3,240,111	3,464,480
販売費及び一般管理費	※ 3,252,074	※ 3,339,155
営業利益又は営業損失 (△)	△11,962	125,324
営業外収益		
受取利息	455	725
受取配当金	2,927	3,787
受取家賃	—	3,102
投資有価証券売却益	445	10,786
その他	1,817	2,483
営業外収益合計	5,646	20,885
営業外費用		
支払利息	200	325
為替差損	845	—
支払手数料	2,499	1,239
支払補償費	2,240	—
その他	485	6
営業外費用合計	6,271	1,571
経常利益又は経常損失 (△)	△12,588	144,638
特別利益		
固定資産売却益	2,475	—
特別利益合計	2,475	—
特別損失		
固定資産除却損	8,282	418
減損損失	—	945
その他	1,800	—
特別損失合計	10,082	1,364
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失 (△)	△20,194	143,273
法人税、住民税及び事業税	40,852	57,440
法人税等調整額	64	△29,495
法人税等合計	40,917	27,945
中間純利益又は中間純損失 (△)	△61,112	115,327
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△61,112	115,327

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△61, 112	115, 327
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7, 354	1, 804
為替換算調整勘定	3, 873	△2, 575
その他の包括利益合計	11, 227	△771
中間包括利益	△49, 884	114, 556
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△49, 884	114, 556

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△20,194	143,273
減価償却費	73,046	106,518
減損損失	—	945
貸倒引当金の増減額(△は減少)	109	187
受取利息及び受取配当金	△3,383	△4,512
支払利息	200	325
為替差損益(△は益)	845	△504
支払補償費	2,240	—
固定資産除却損	8,282	418
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,475	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△10,786
売上債権の増減額(△は増加)	△10,617	△106,038
棚卸資産の増減額(△は増加)	44,326	△7,092
未収消費税等の増減額(△は増加)	△82,117	91,711
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,915	△13,945
前払費用の増減額(△は増加)	△47,591	△21,124
未払金の増減額(△は減少)	△14,440	△32,242
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,060	137,699
未払事業税の増減額(△は減少)	1,350	7,180
長期未払金の増減額(△は減少)	△3,971	△763
契約負債の増減額(△は減少)	△102,699	△98,525
その他	56,138	53,533
小計	△168,927	246,258
利息及び配当金の受取額	3,811	6,132
利息の支払額	△200	△325
補償金の支払額	△3,360	—
法人税等の支払額	△65,613	△43,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	△234,291	208,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△660,366	△66,103
有形固定資産の売却による収入	275	—
無形固定資産の取得による支出	△2,887	—
敷金及び保証金の差入による支出	△5,360	△9,930
敷金及び保証金の回収による収入	5,696	3,101
長期前払費用の取得による支出	△2,192	△2,702
その他	△1,736	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666,572	△75,635
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,900	—
配当金の支払額	△42,833	△42,731
リース債務の返済による支出	△1,344	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,078	△42,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,707	△1,816
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△945,235	88,722
現金及び現金同等物の期首残高	3,633,673	2,653,637
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 2,688,438	※ 2,742,359

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

コミットメントライン契約に係る借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
コミットメントラインの総額	2,000,000千円	—千円
借入実行残高	—	—
差引額	2,000,000	—

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
従業員給料	1,221,780千円	1,306,665千円
退職給付費用	8,453	8,625

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	2,688,438千円	2,742,359千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	2,688,438	2,742,359

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、化粧品及び医薬部外品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。